

テレワーク等におけるライフスタイルアンケート調査結果【クロス集計】

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

1 調査の目的

今回の新型コロナウイルスの影響禍において、テレワーク等の導入など新しい生活様式が家庭のCO2排出削減につながるのか実態調査を行った。

2 調査対象

埼玉県在住で、以下の条件を満たす男女310人。

- ① 年齢30歳代～60歳代
- ② 2020年4月から9月まで、週4日以上テレワークにて仕事を行っている
- ③ 同居する家族が本人含め3人以上

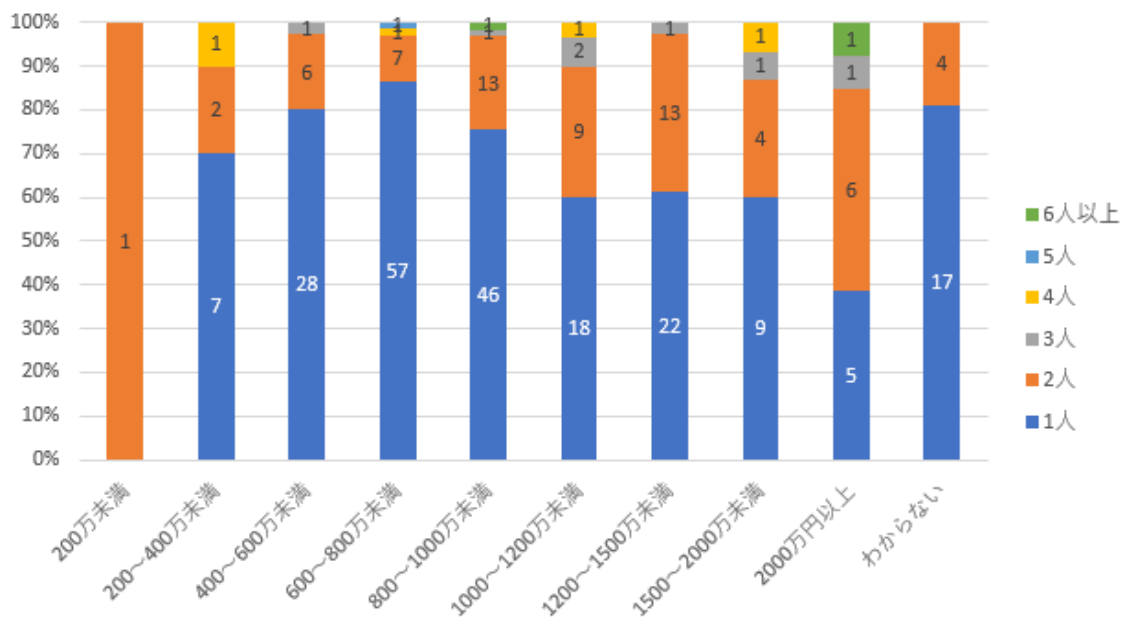
3 調査方法

環境省「令和2年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」を活用し、インターネットリサーチ（株式会社マクロミル）による調査を実施し、クロス集計を行った。

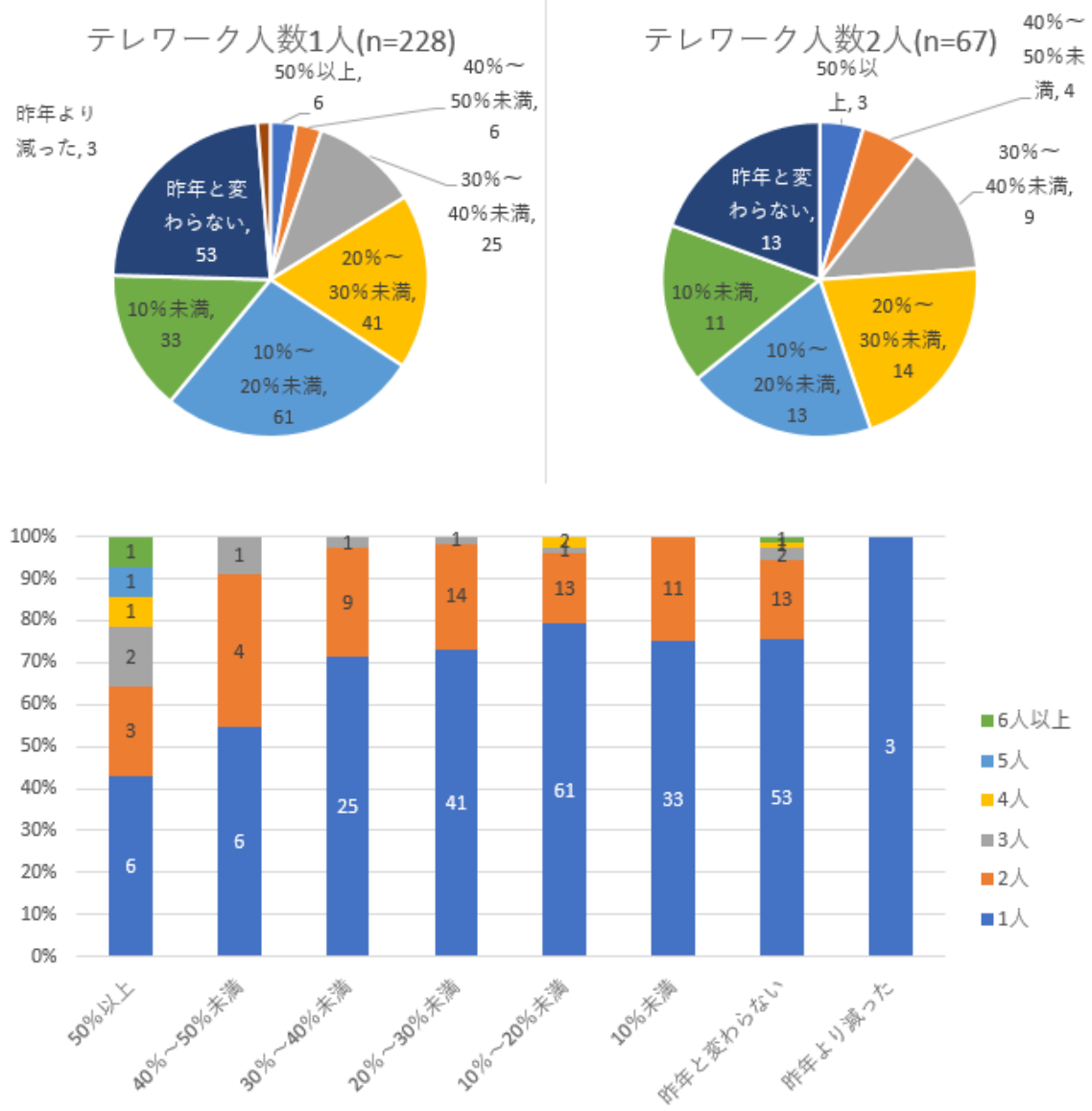
4 調査結果（クロス集計版）

4.1 世帯年収とテレワーク人数の関係

テレワーク人数が1～3人の世帯では、世帯年収が多いほどテレワーク人数が多くなる傾向が見られた。

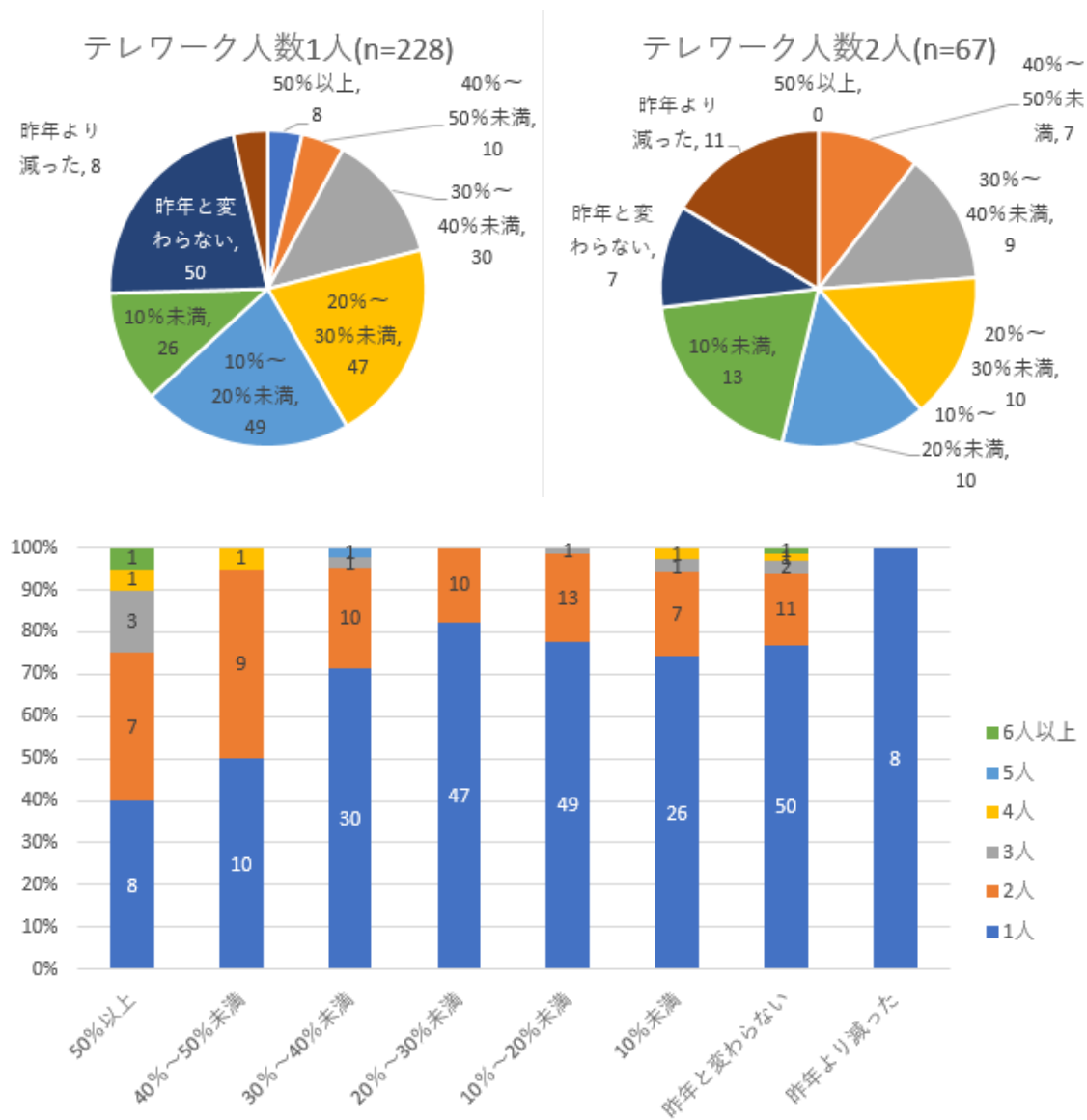


4.2 テレワーク人数と電力消費量（4月・5月）増加率の関係



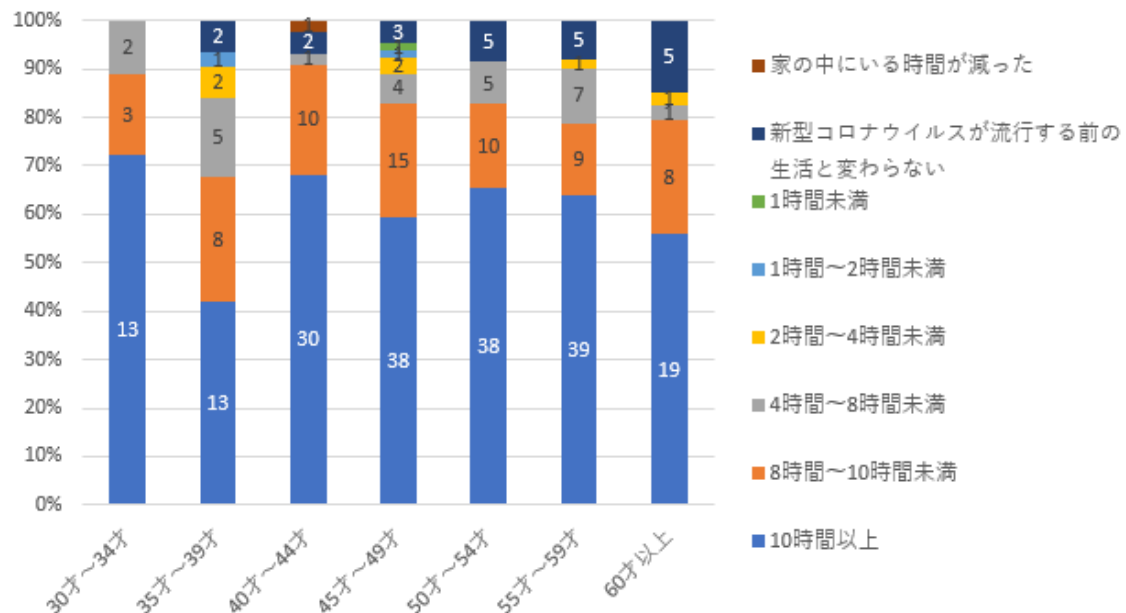
4.3 テレワーク人数と電力消費量（8月）増加率の関係

テレワーク人数が多くなるほど、4、5月においても8月においても前年比電気代増加率が大きくなる傾向が見られた。



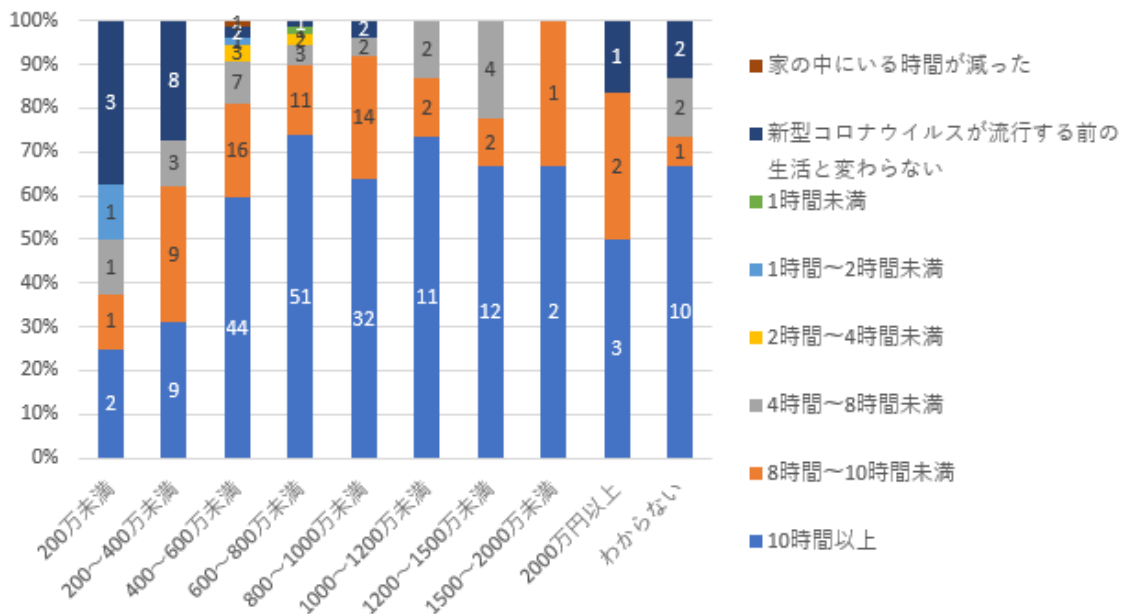
4.4 年代とテレワークによる在宅時間増加の関係

回答者の年代と在宅時間の長さの間には相関は見られなかった。



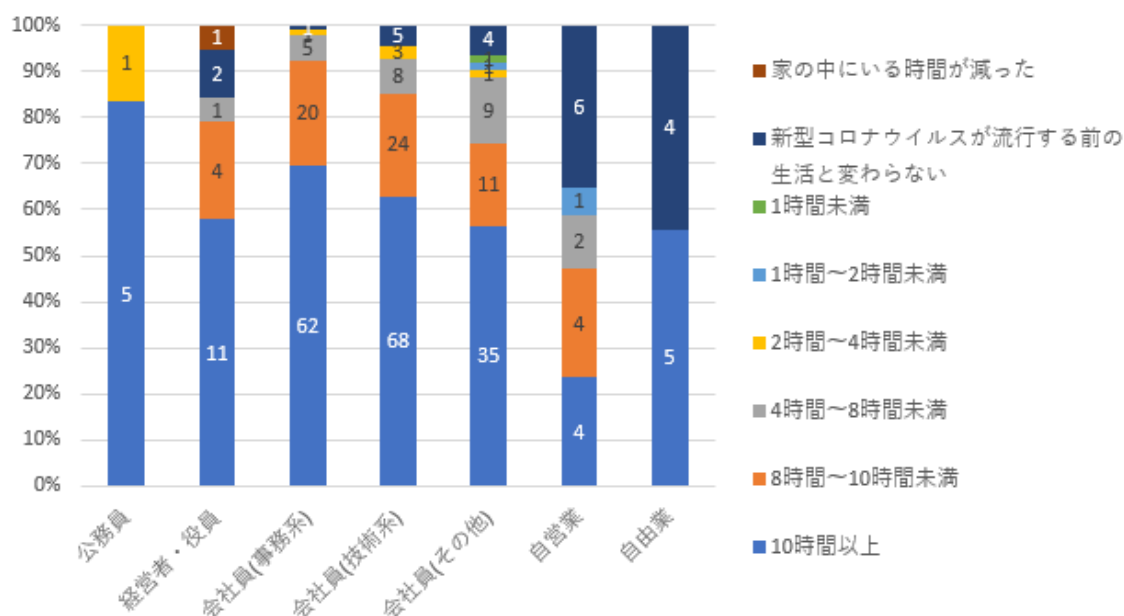
4.5 個人年収とテレワークによる在宅時間増加の関係

世帯年収が多いほど回答者の在宅時間が長くなる傾向が見られた。



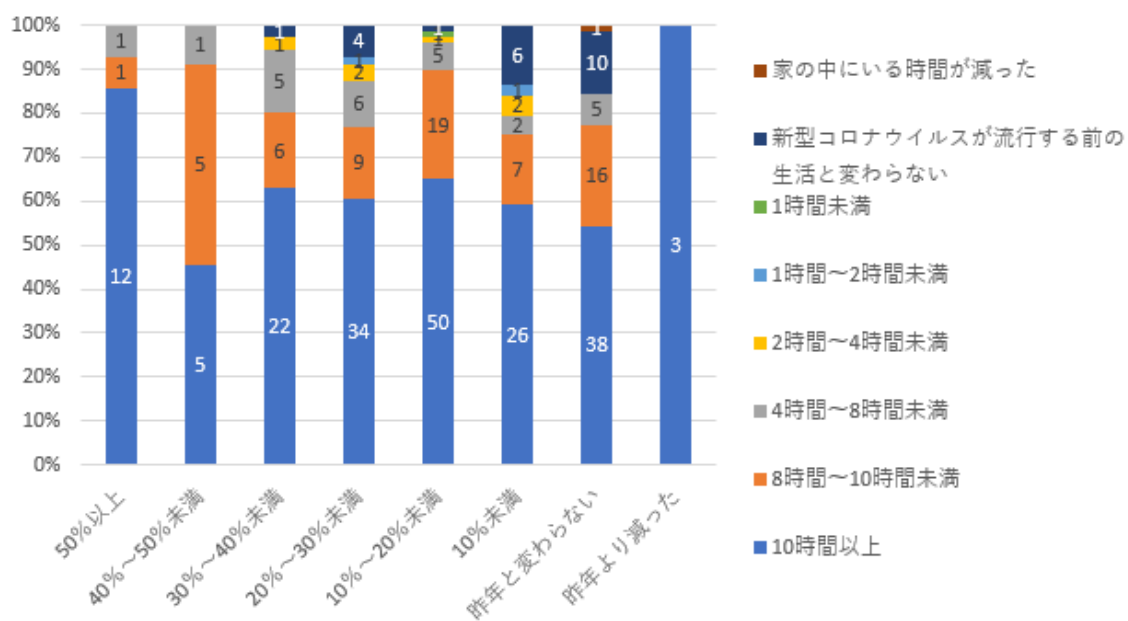
4.6 職業とテレワークによる在宅時間増加の関係

年収 400 万円未満、または自営業・自由業の世帯ではコロナ後も在宅時間が変わらないという回答が多い傾向が見られた。



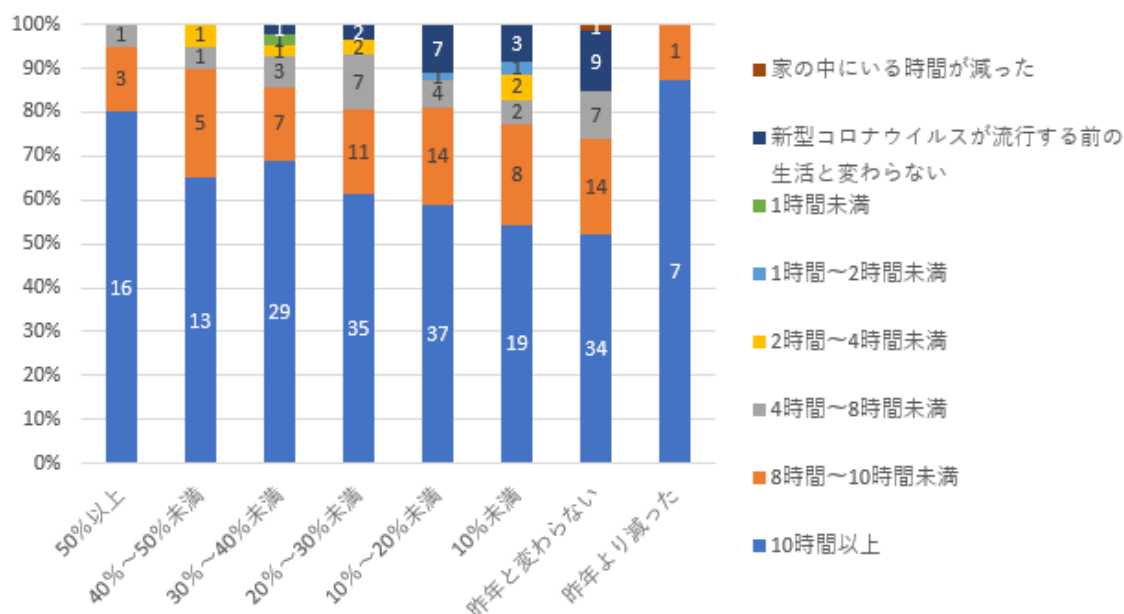
4.7 テレワークによる在宅時間増加と電力消費量（4月・5月）増加率の関係

4, 5 月における前年比電気代増加率は、回答者の在宅時間が長いほど増加する傾向がやや弱く見られた。



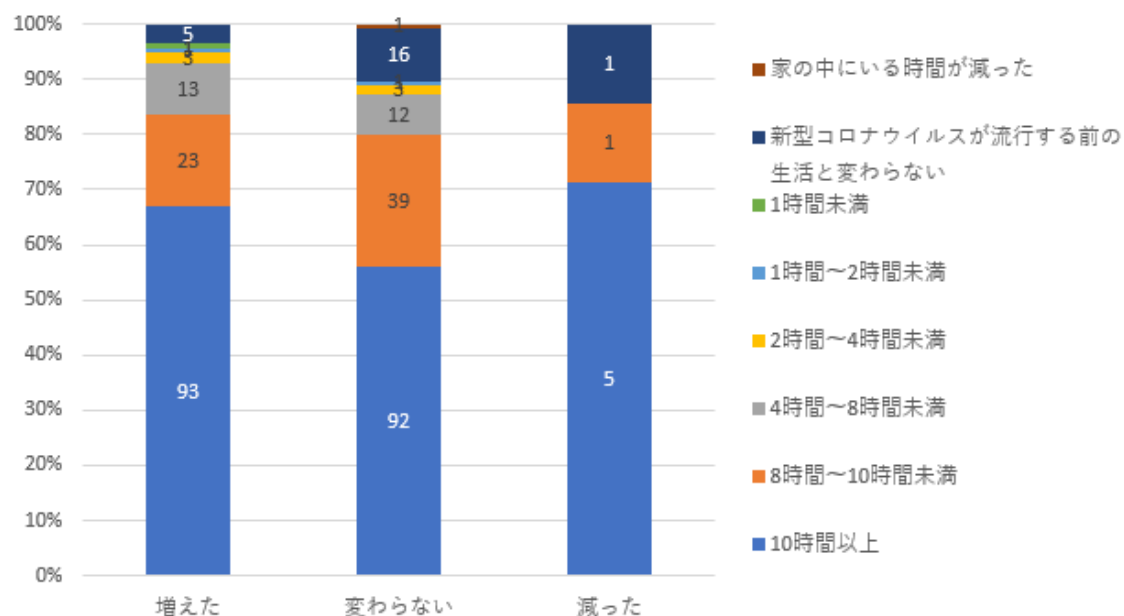
4.8 テレワークによる在宅時間増加と電力消費量（8月）増加率の関係

8月における前年比電気代増加率は、回答者の在宅時間が長いほど増加する傾向が見られた。



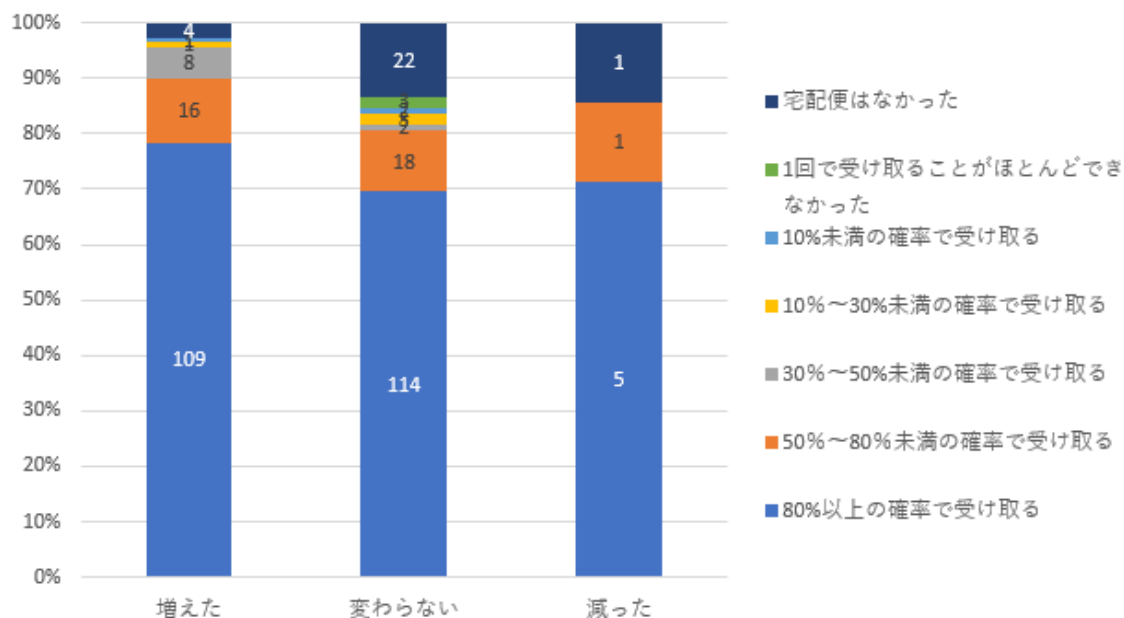
4.9 テレワークによる在宅時間増加と宅配利用の関係

回答者の在宅時間が長いほど宅配利用頻度が増える傾向がやや見られた。



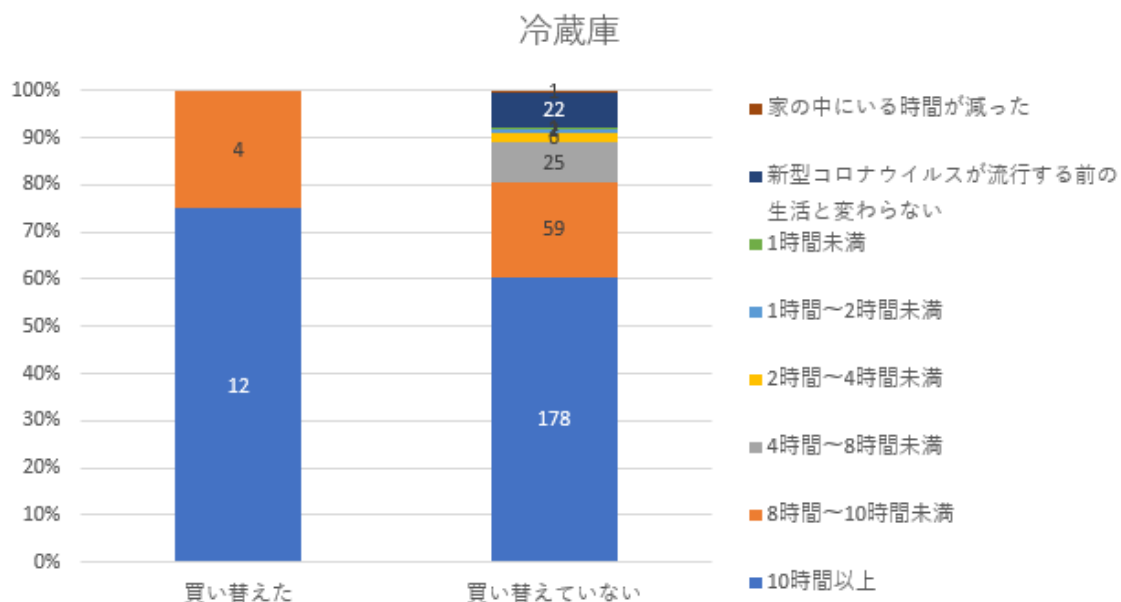
4.10 宅配利用と再配達率の関係

宅配利用頻度が増えた世帯の方が、受け取り確率が高い傾向がやや見られた。

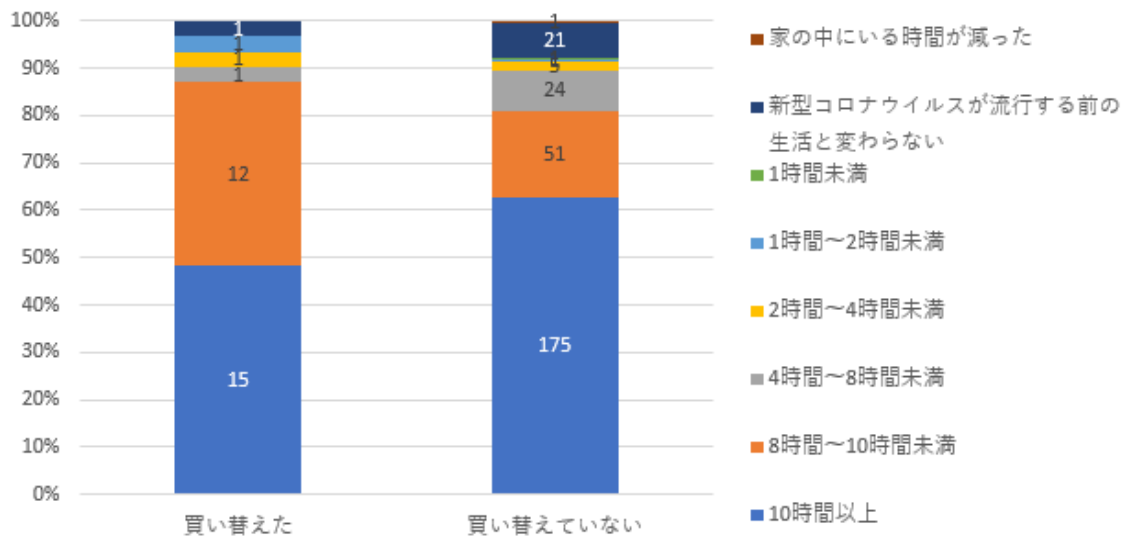


4.11 テレワークによる在宅時間増加と家電買換率の関係

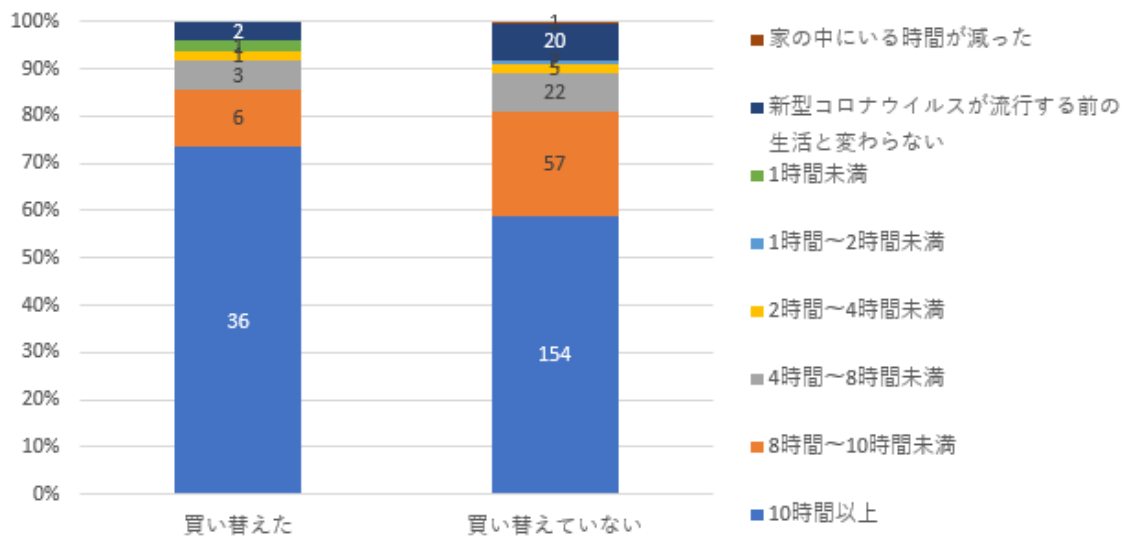
冷蔵庫・テレビ・エアコン・照明の全ての家電において、回答者の在宅時間が長いほど買い換える傾向が見られた。特に冷蔵庫と照明においてその傾向が強く見られた。

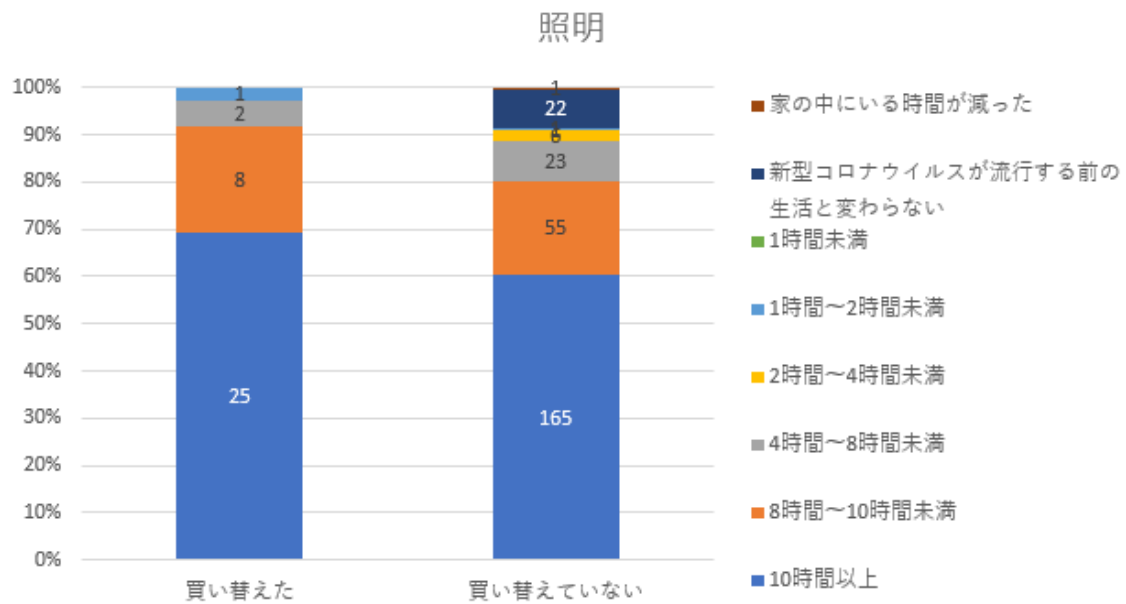


テレビ*



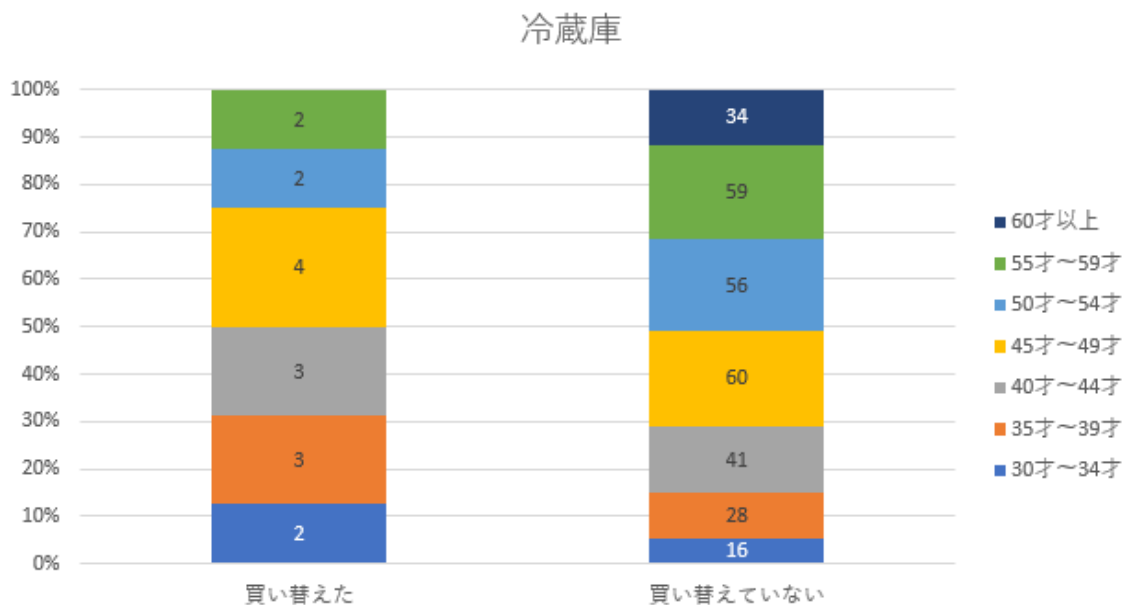
エアコン



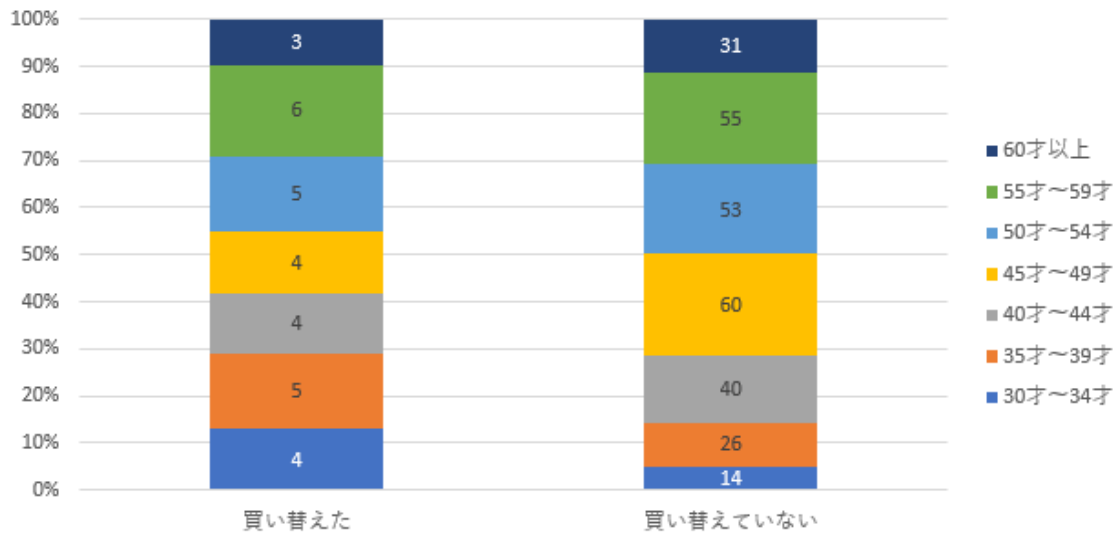


4.12 年代と家電買換率の関係

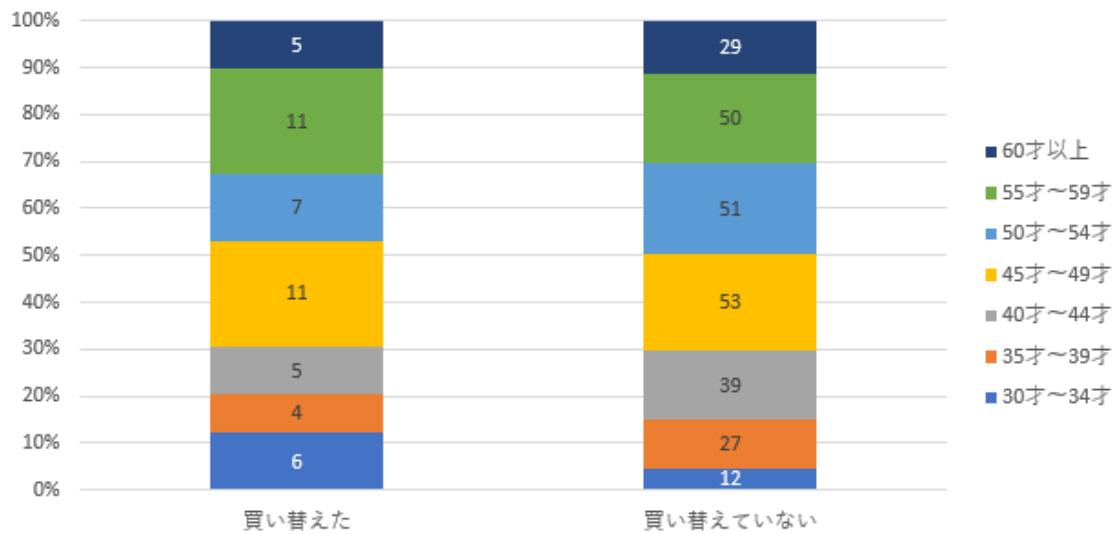
冷蔵庫については若い世代の方が買い換えを実施する傾向が強かったものの、他の家電については年代による買い換え有無に差は見られなかった（冷蔵庫は耐用年数が長く価格も高いので、高齢世帯になるほど買い換えが進まないことが理由として考えられた）。

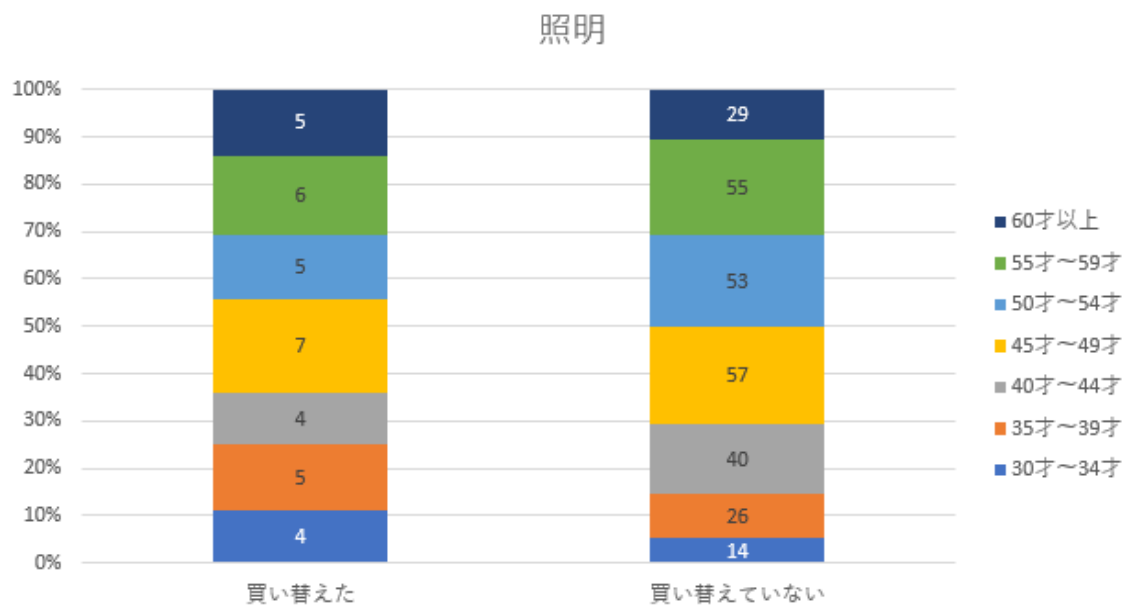


テレビ

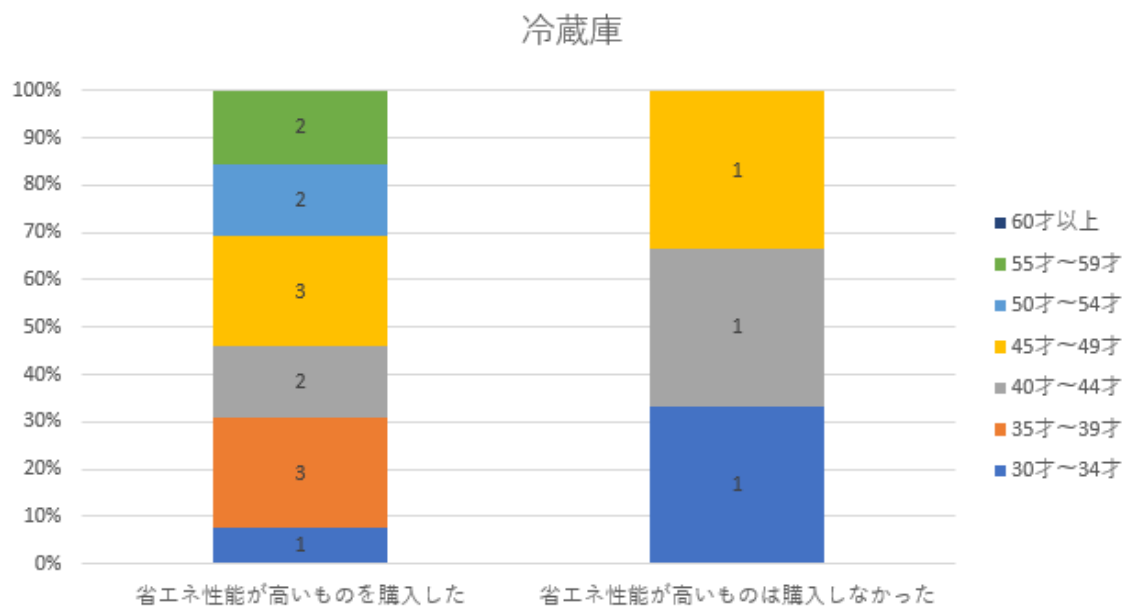


エアコン

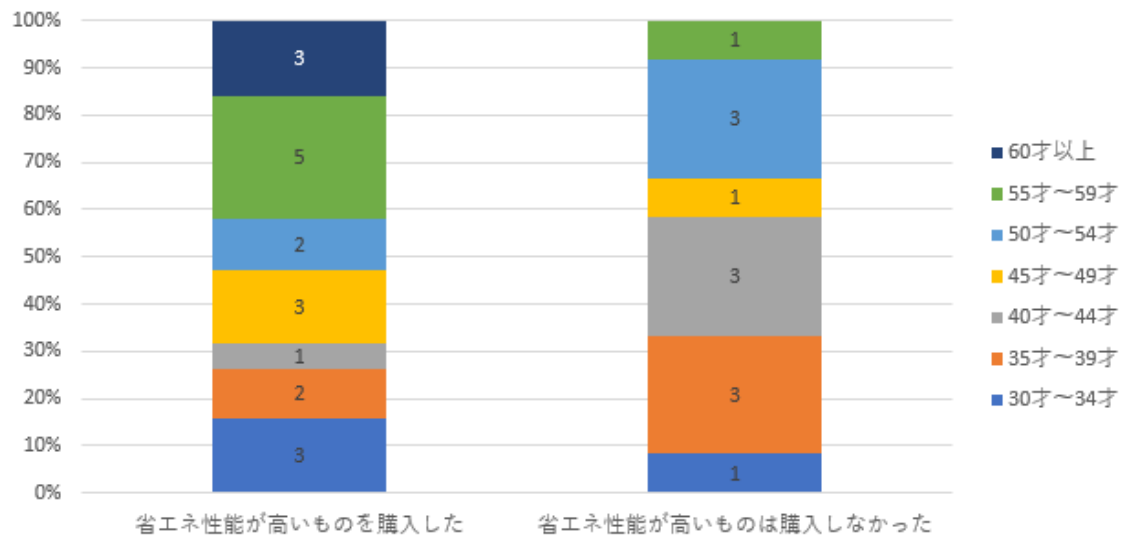




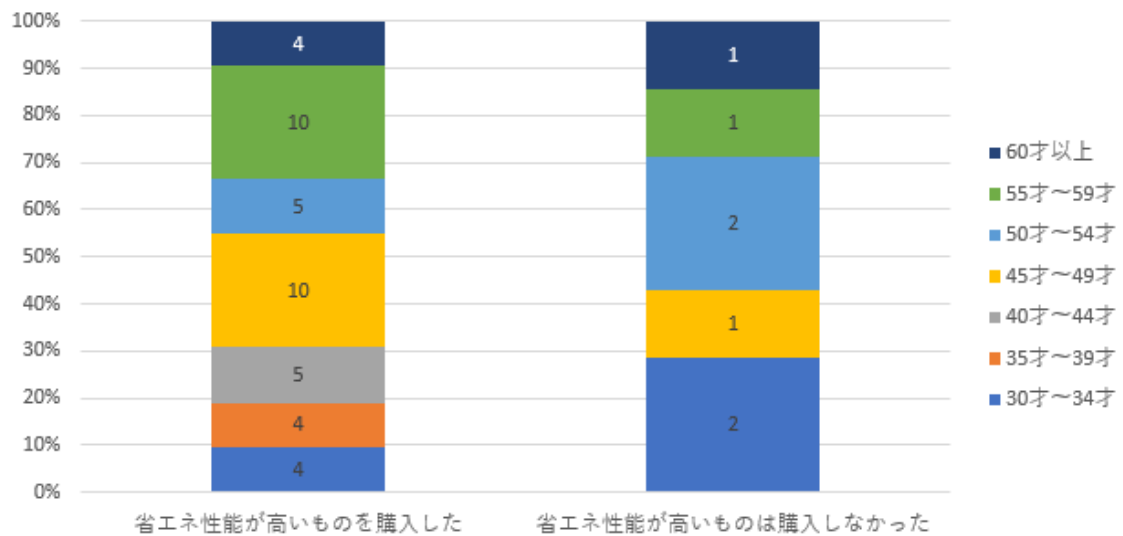
4.13 年代と家電買換率（買換えた家電は省エネ性能が高いものか）の関係

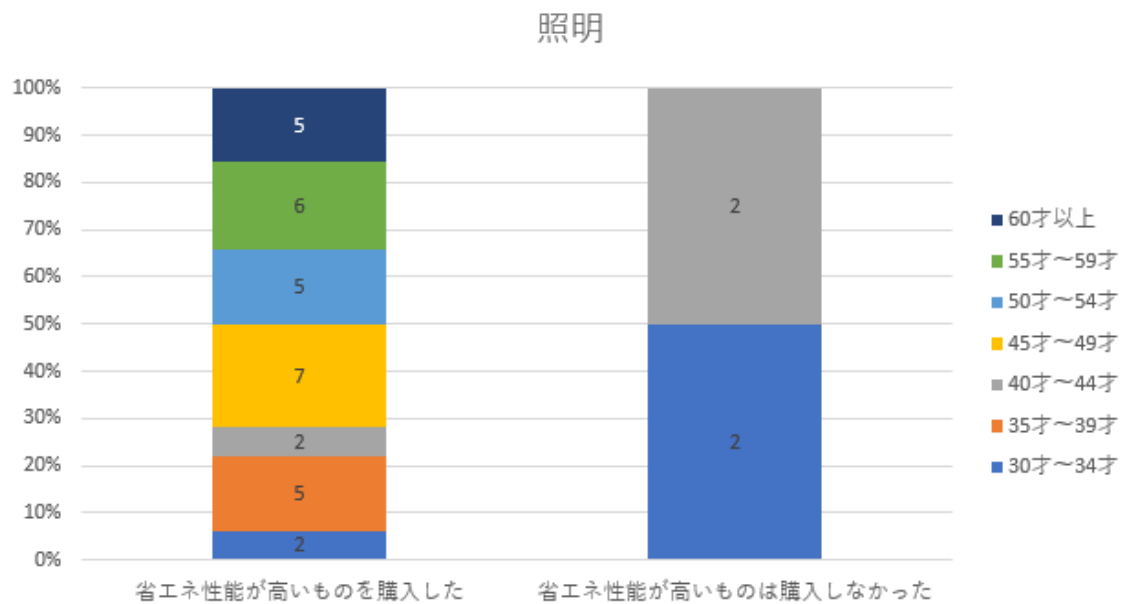


テレビ



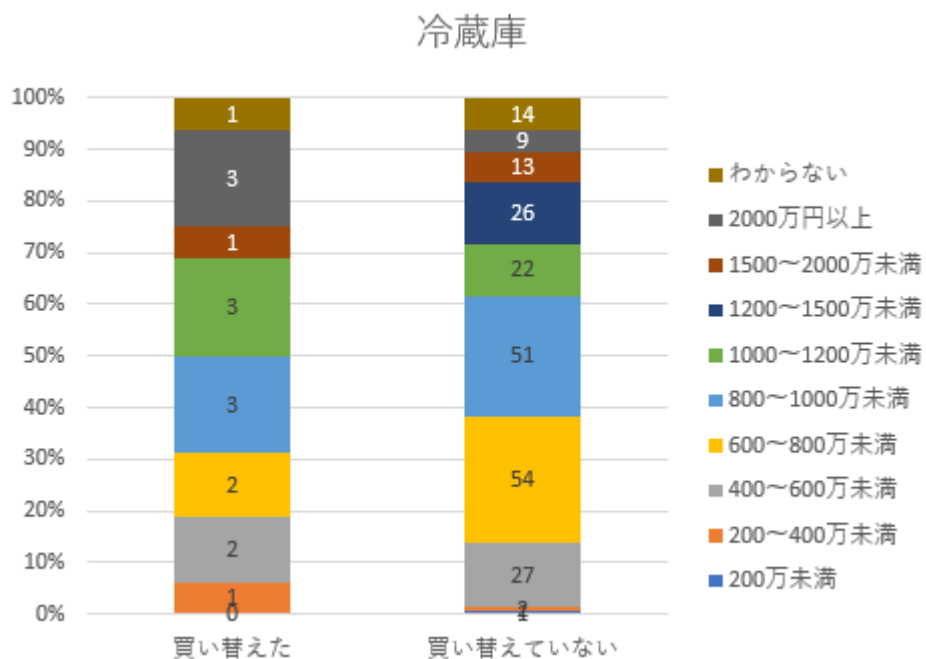
エアコン



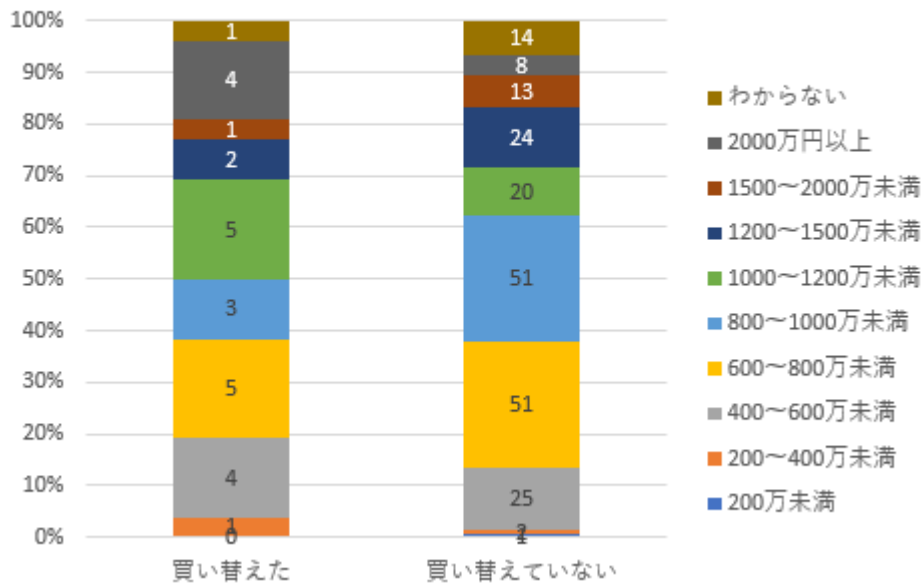


4.14 世帯年収と家電買換率の関係

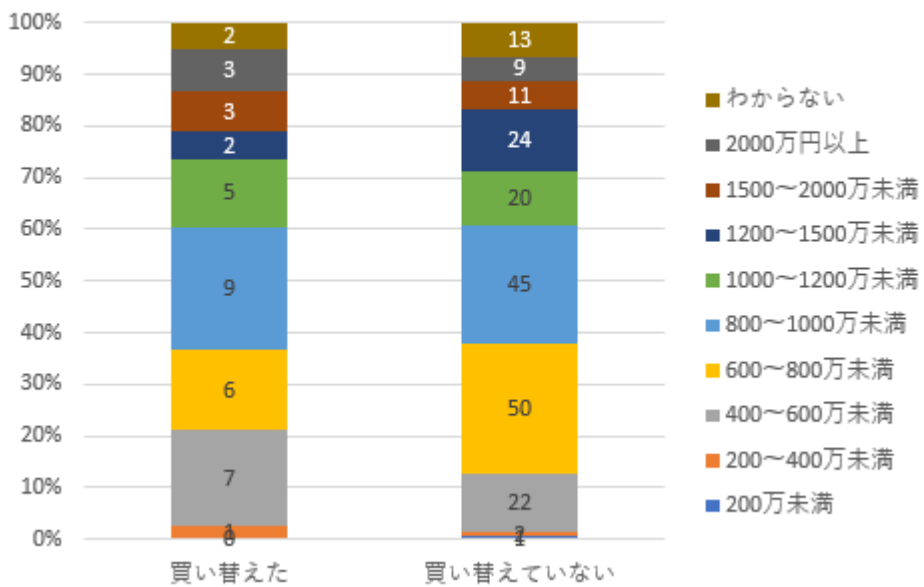
冷蔵庫と照明において、買い替えた世帯の世帯年収は買い替えていない世帯の世帯年収よりも高い傾向が見られた。

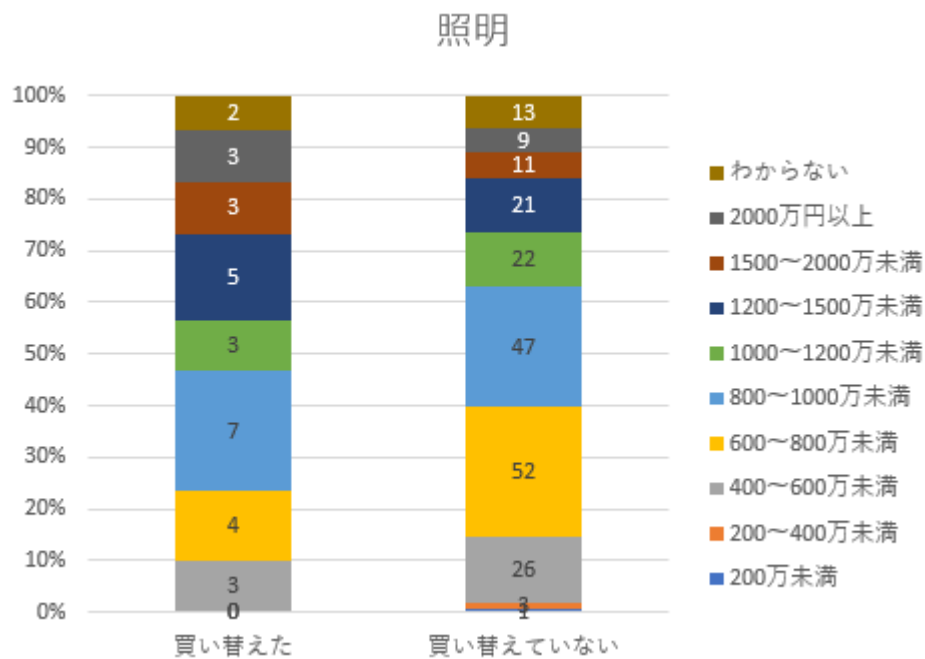


テレビ

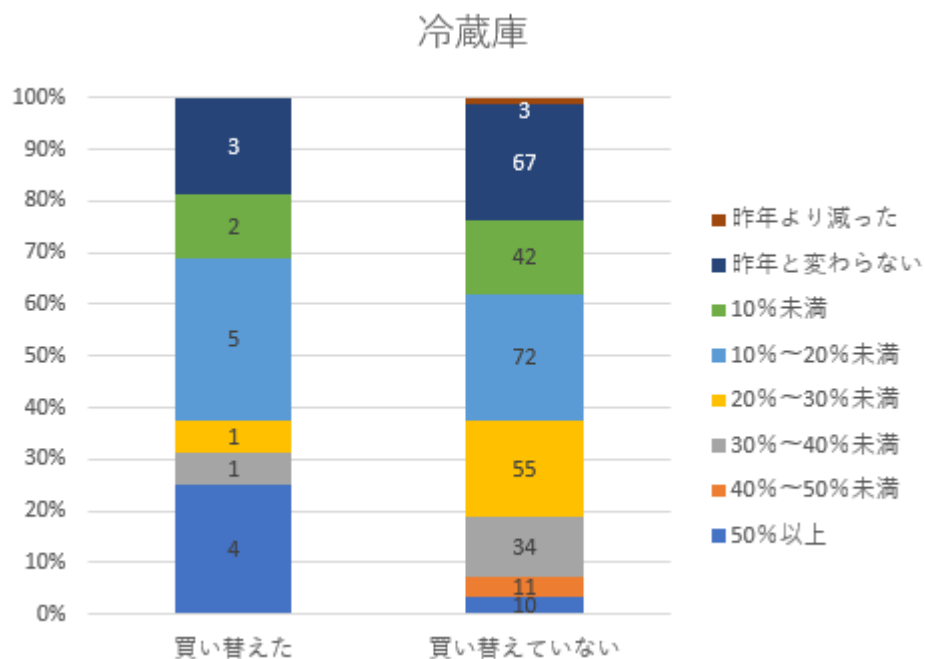


エアコン

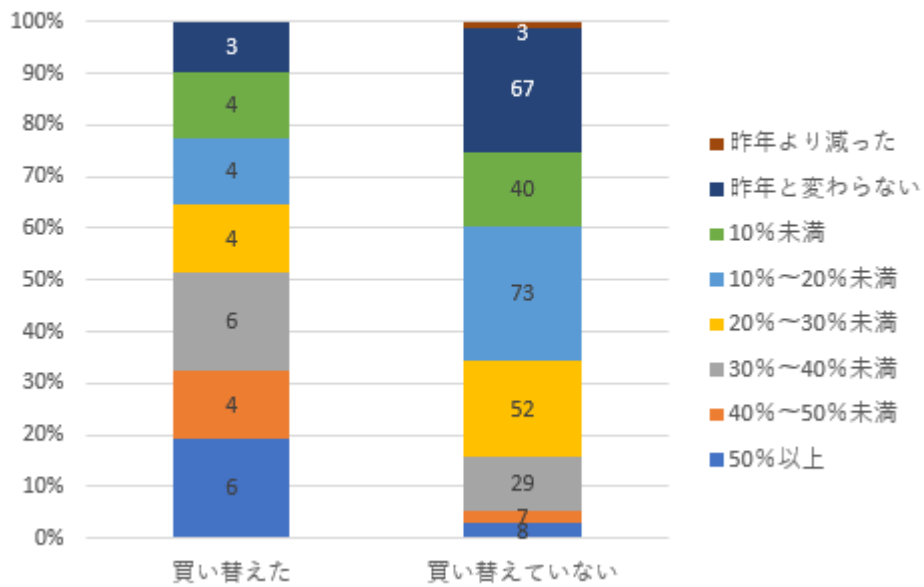




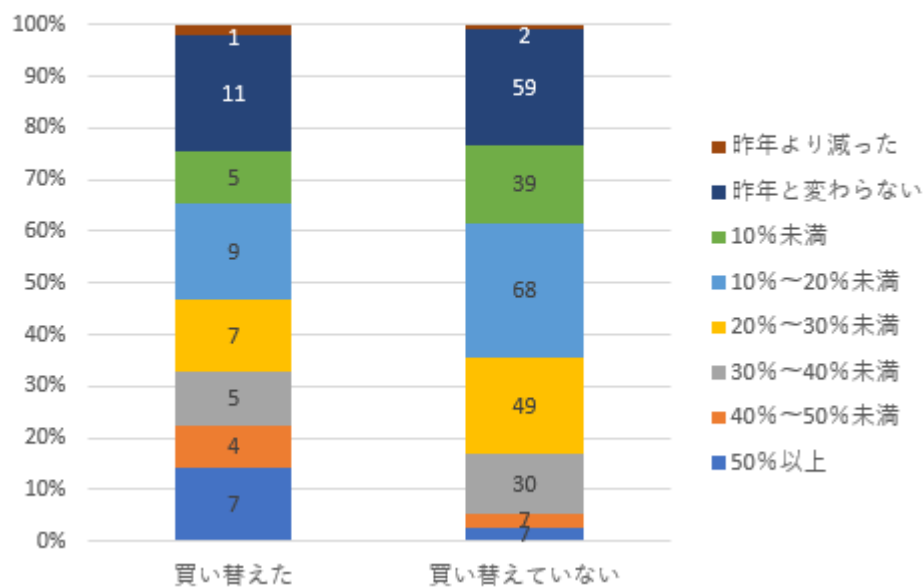
4.15 電力消費量（4月・5月）増加率と家電買換率の関係

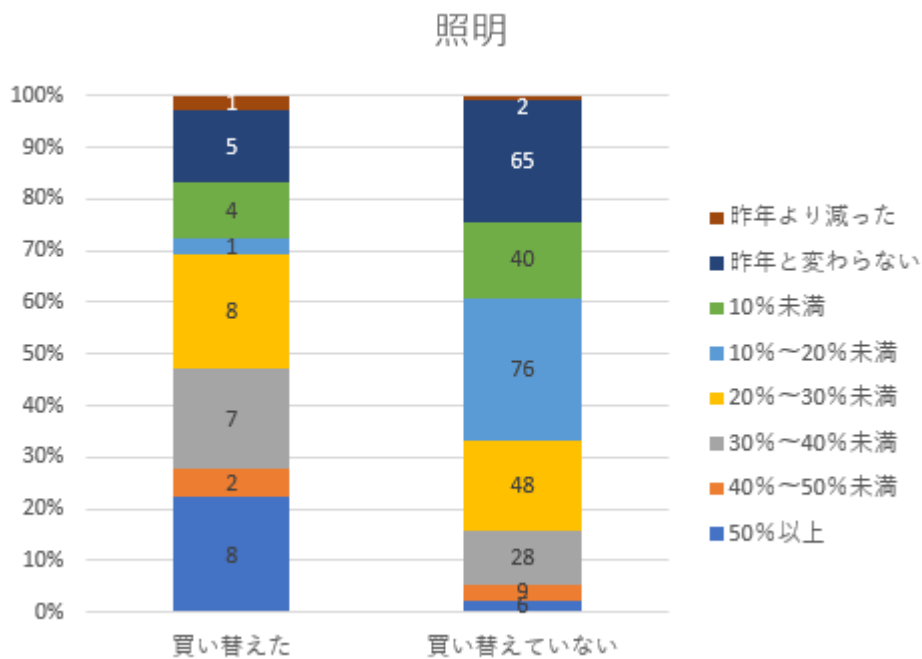


テレビ



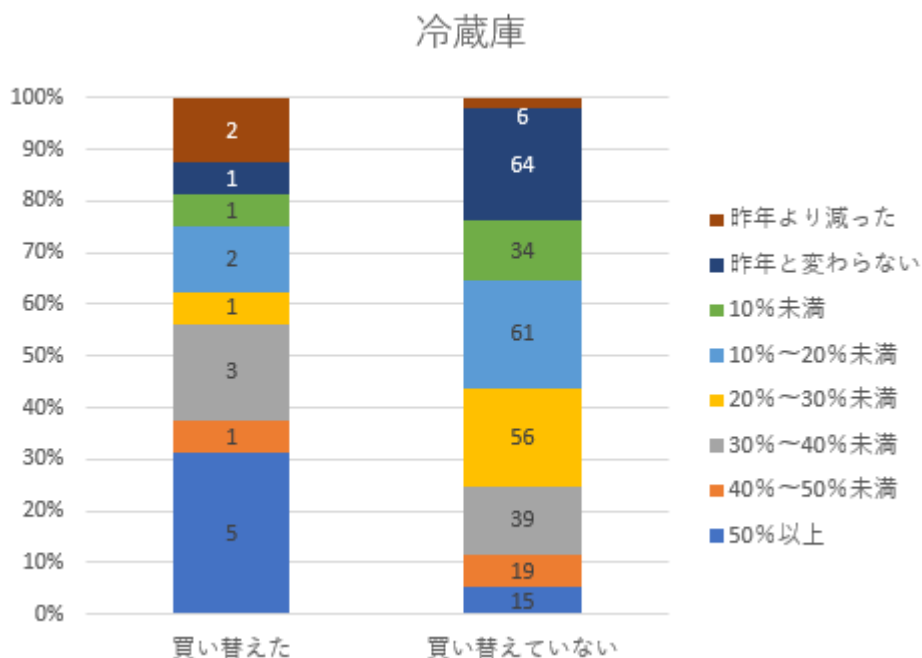
エアコン



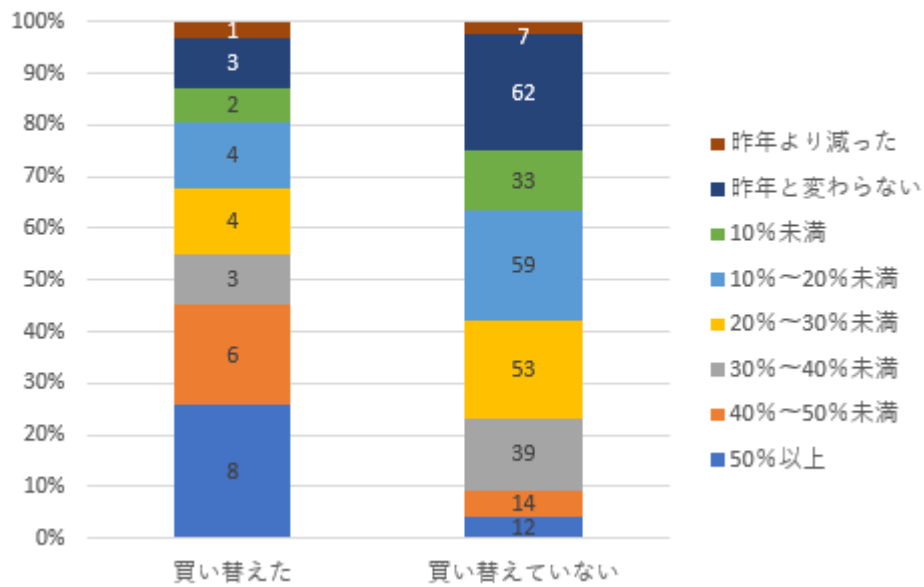


4.16 電力消費量（8月）増加率と家電買換率の関係

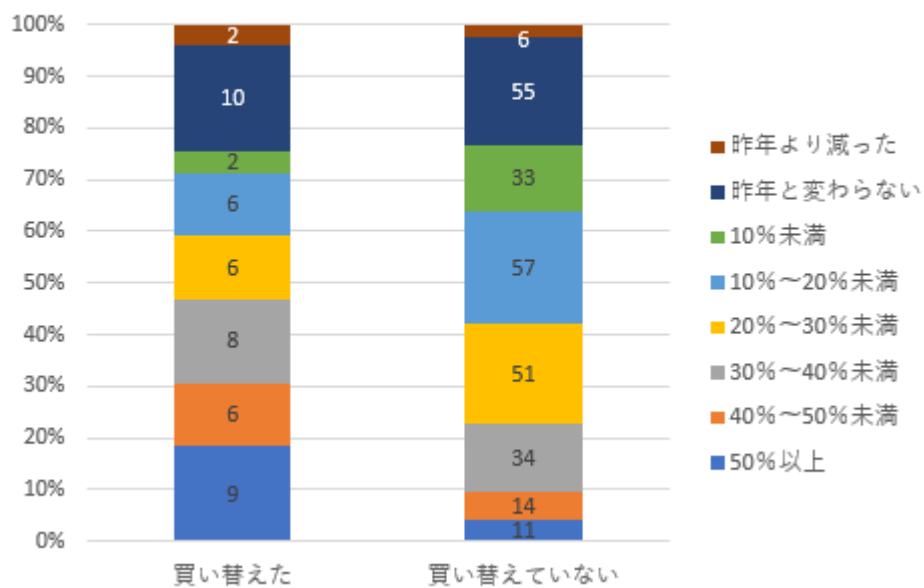
冷蔵庫・テレビ・エアコン・照明の全ての家電において、4、5月および8月の前年比電気代が30%以上増加した世帯において買い換えた傾向が強く見られた。

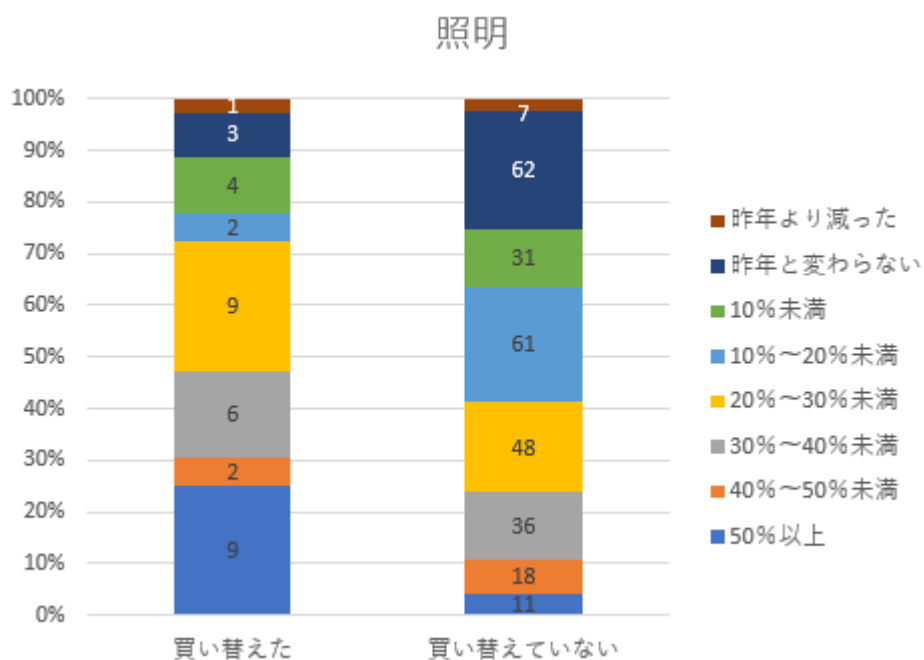


テレビ



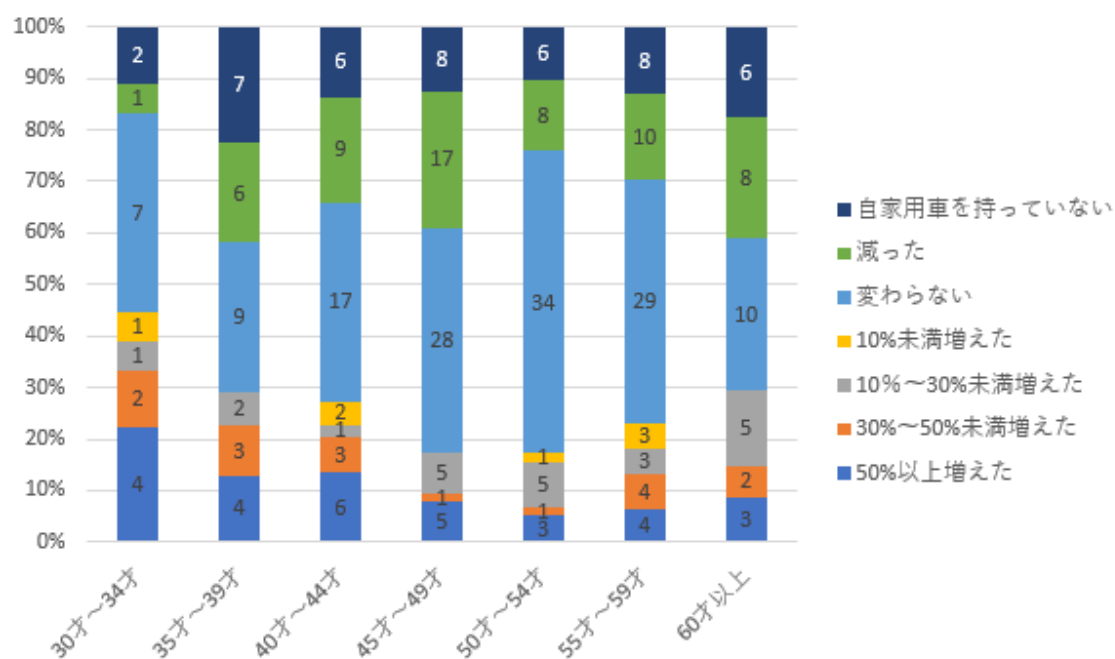
エアコン





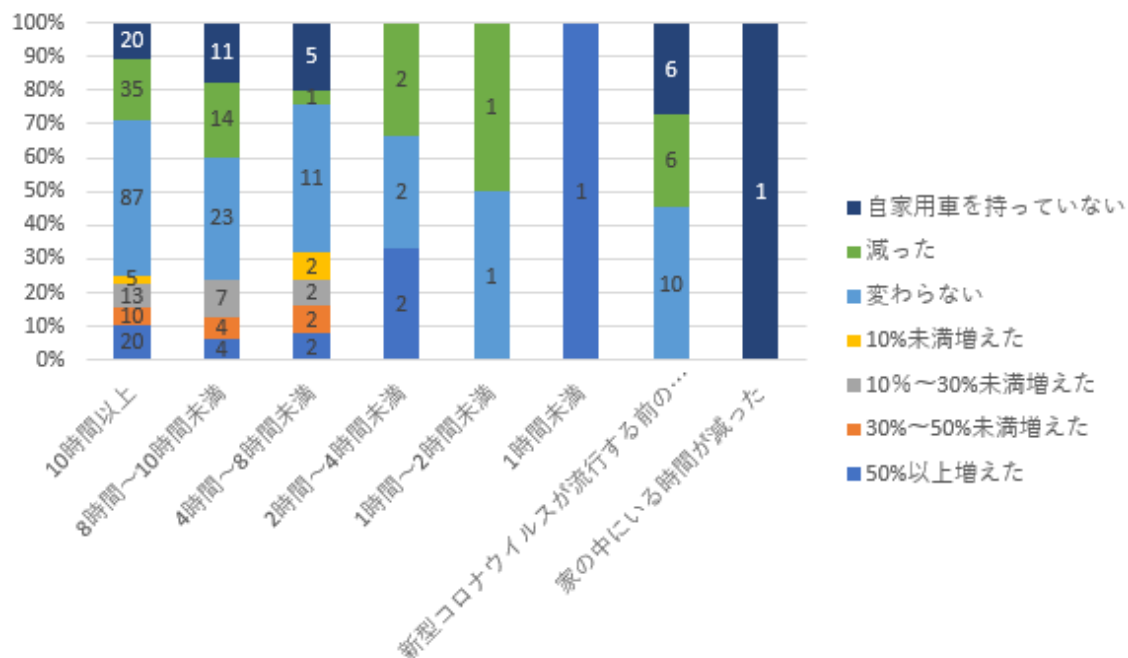
4.17 年代と自動車使用頻度の関係

自動車の利用頻度の増減は、35 歳以上の回答者において回答が 2 極化しており、各年代において増えたと回答した世帯と減ったと回答した世帯は同程度であった。



4.17 テレワークによる在宅時間増加と自動車使用頻度の関係

回答者の在宅時間と自動車の利用頻度の間には相関は見られなかった。



4.18 電力消費量（4・5月-8月）増加率間の関係

